

# 「観」住まい

講演会「パネルディスカッション

## 「子どもたちの未来へ 夢のある住まいを」開催

6月最後の日曜日、27日。雨。佐賀大学経済学部4号館。佐賀の古民家に学ぶ会、夢木香共催の講演会が開催された。



増田一眞氏

日本を超高層ビル設計の先駆者でありながら、日本古来の伝統構法へと回帰していった、建築家の池田武邦さん。木造構造設計の第一人者、増田一眞（かずま）さん。4人のパネラーの皆さん。時折、激しく降る雨の中、参集した200名余の聴衆の皆さん。会の運営スタッフ；参事者全員の、「先人たちの知恵の塊である伝統構法のすばらしさを、次の世代へと伝えていこう、火を絶やさずに再生していこう」という深い思いが響き合い、ひとつに融け合っていく5時間であった。

増田一眞氏 講演

◆伝統技術と日本の山材を守ろう◆

増田さんは、「自然に逆らわず建てるべし」という伝統構法の根本を映像を使いながら、わかりやすく話していく。

かつて二宮尊徳は、建てることと自然が自然に逆らうことなのだから、自然に従って建てないと自然力に壊される、と説いた。伝統木構造の核心を言い当てている。自然は征服すべきもの、という欧米流の考え方は、



池田武邦氏

取り組んだ。地震の少ない欧米と違い、地震はある、台風もくる、の日本では、欧米のように箱を積み上げるだけの高層建築というわけにはいかない。日本にも戦前から超高層の理論はあったが、いざ耐震構造の計算となると何十年もかかってしまう。

60年代にコンピュータが実用化され、東大地震研にあった10畳大の真空管の塊りのようなコンピュータで計算に取り組んだ。60年代後半から70年代にかけて、霞ヶ関ビル、京王プラザ

ホテル、新宿三井ビルなど、次々に超高層ビルを手がけ、仕事の絶頂期にあった70年代のある日、自ら手がけた超高層最上階のオフィスから地上に降り立つと、一面の雪。震えるような寒さの中で、何故か心が安らいだ。「人間も自然の一部なんだ...」。

以来、気づきはどんどん深まり、日本古来からの伝統構法へと回帰していくことになる。池田さんは、自ら気づかされた文明と文化のちがいを話してくれた。近代合理主義、機械文明に見られるとおり、文明は普遍性の

自然と相和していく、という東洋の考え方の対極にある。しかし、2極は対立するものではなく、相補うもの。「両極は相通す」であり、「凡て二用にして一真」であり、「表裏一体」である。

世界権力のコントロールするメディアに踊らされていただけの、薄っぺらな「エコロジー」も、人々の気づきの深まりの中で、本物へと反転しつつある。ほんの50、60年前まで、日本人ならみな弁えていたマクロヴィオテックも、欧米経由の流行として日本に里帰りし、次第に本来の姿へと回帰しつつある。

人間社会の諸現象が、破壊への道を突く走る末期の状況に、ついつい見えてしまいがちだが、案ずることはない。人間の意識エネルギーは、宇宙の根源が発するエネルギー波動の変化にシンクロしているだけである。バランスが崩れれば、バランスを取り戻すために、エネルギーは自然に反転していく。十へ反転するためには、一のエネルギーが極に達する必要がある。末期的に見える状況も、そのための通過プロセスに過ぎない。

増田さんの言うとおり、今は正に、伝統の知恵と、構造的理論にも含まれている現代物理学

の最前線の知恵が、融け合っていくことになる秋(とき)なのだ。増田さんの手がけた、伝統構法による木づくりの小学校や幼稚園は、そのことを見事に表現している。

池田武邦氏 講演

◆超高層から茅葺きへ◆

戦況が敗戦へと傾いた昭和18年(1943年)、海軍兵学校を出た池田さんは戦場へ。マリアナ沖海戦以降、全ての海戦に立ち合い、アメリカの圧倒的な物量と技術力の前に、日本の最新鋭の戦艦が次々に撃沈されていく様子を目の当たりにする。自ら乗った船も沈められ、海上を漂いながら九死に一生を得た。わずか2年足らずで、同期生625名中、335名が戦死。戦後、建築界に入って一流企業の現場で見たものは、今だに手掘り作業で、工程管理も何もない世界。足場から落ちて3人の職人が亡くなった。

その竣工式当日、ゼネコン代表はあいさつの中で、この死亡事故を「わずか3名の犠牲で済んだ」との一言で終わらせた。池田さんは愕然とした。「このままじゃダメだ。日本の建築界をもっと近代化しなければ、戦争の二の舞になってしまふ」。

ゼネコン界からの嫌がらせの中で、敢然と業界の近代化に

保さんの伝統構法を活かした家づくり。「私の」「私」という自我意識(エゴ)を手放して生きる、パネラーの方々の清々しさを観じた。

質疑応答の場。久留米で茅葺き職人への道を歩んでいる20代の青年の澄んだ瞳、地元で古民家保存に心を砕く老婦人の発言が心に残った。池田さんは老婦人に応えて言った。「お気持ちちはよくわかります。この会場に来てみるみんなが、あなたの味方なんです。力を合わせましょう！」

心のこもった拍手の中で、会場のすべては、ひとつになった。



### 伝統を未来につなぐ新伝統木造セミナー

日時 2010年7月25日(日) 9:00~16:00  
会場 佐賀大学経済学部第4号館(講義棟1F)  
講師 NPO伝統木構造の会会長 増田一眞氏  
第1回セミナー 伝統構法は日本人の空間文化 9:00~12:00  
第2回セミナー 伝統構法は激震でも転倒しない 13:00~16:00

定員50名様

受講料 全セミナー1,000円×6セミナー 6,000円(全セミナー受講者の方)  
※資料代含む。スポット受講の場合は1セミナーにつき1,500円になります。

お問い合わせお申込み先 (有)夢木香まで ☎0120-835-832 http://www.yumekikou-happy.com



設計・施工 ゆめきこう  
有限会社 夢木香  
☎0120-835-832  
http://www.yumekikou-happy.com  
e-mail: yumekikou@globe.ocn.ne.jp  
TEL 0954-69-8333 / FAX 0954-69-8334  
佐賀県唐津市大字三河内甲 2487  
日本民家再生協会正会員

### 親子でつくりよう木工教室開催!!

日時 2010年8月8日(日) 13:00~17:00  
場所 佐賀マツダ本社前駐車場(佐賀市八戸)  
講師 大工棟梁 納富和生氏 入場 無料

※当日使用する木材はご用意いたします。金づち、ノコギリをお持ちの方はご持参下さい。

お問い合わせ お問い合わせ:(有)夢木香まで ☎0120-835-832  
お申込み先 http://www.yumekikou-happy.com

子どもたちと一緒に  
ひと夏の思い出を  
つくりませんか